

## ウクライナ 滅ばず

「露助、イタ×、××××。」10年先輩が、フグを食べていた時何かの話から、大声で語った。一緒に食べていた50代の男2人は、まったく反応せず、何のことかわからない、と言った。理解したのは、ボクだけだったことに驚いた。知らぬフリをしているのかと思ったが、そうではなく、本当に知らなかったらしい。

要するに、信用できない国や国民のことである

最初の国は、ロシアで、日本が無条件降伏をしているのにも拘らず、カムチャツカ半島からすぐの占守島を攻撃してきた。占守島を守護していた日本兵は、故国日本に帰ることができると思っていた。そこに、理不尽にもソ連兵が突然上陸してきて襲ってきたから、命令を待って直ちに応戦し、戦車部隊を木っ端微塵に全滅させた。すると、ロスケは、武器を捨てたはずではないか、と連合軍に助けを求め、武器を捨てさせた。・・・兵士は、帰国できると喜んだのだが、ぬか喜びに終わり、シベリアに抑留されるに至る。シベリアの中でも特に苛酷な土地にである。

それでも、命懸けで祖国を守ったのである。・・・これが、のちの北海道占拠にまで響いて、現在は、北方四島の占領だけになった。北方四島の占拠は、8月15日を過ぎていた。奴らの言い分は、「終戦」は、9月2日だというもの。明らかな火事場泥棒だ。

他方、日ソ不可侵条約を一方向的に破棄し、8月9日午前0時を期して（実際には8日には侵攻していた。）満洲に怒涛の如くに侵入し、この被害は、地続きだから大きかった。逃げ道がない。民間人への凌辱、掠奪、虐待、成人には拷問、虐殺・・・ありとあらゆる悪徳のし放題だった。こういう悪については、なぜか知恵がまわる。・・・日本で抵抗できるのは関東軍であるが、ほとんどが南方に異動されていて、わずかしか残っていない。関東軍など何の役にも立たない。上層部には、敗戦間近、負けると分かった時点（無論一般人には知らせていない）で、いかにして「家族を日本に送り帰そうか」と考えていたのまである。少佐で帰国したおじさんが「死ぬまで言わんつもりだったが・・・」と教えてくれた。

今は出版されることもないが、戦後すぐには、ロスケの凌辱、掠奪、虐殺などの暴虐に対する抗議の書物が数えきれないほどであった。いったん相手が弱いと判断すると、手当たり次第に蹂躪するのが彼らの常套手段である。人間ではなく、「熊」と表現される所以である。

2022年2月下旬、ロシアが、宣戦布告なく、突然ウクライナに侵攻し、ウクライナが旧満洲と同じ運命になるかも知れない瀬戸際だ。プーチンは、数年来虎視眈々と狙っていたのだが、ここは地続きだから、防ぎようがない。満洲と同じで

ある。「軍の施設しか攻撃していない」など、子どもでさえ信用しないことを平気でいう。TVの画面に、病院や学校などを攻撃している画面がでている。・・・そして子供たちが殺されている。この時点でのプーチンの顔を見れば、悪相そのもので、自分勝手な理屈ばかりを語る。プーチンは、呆けているのか、狂っているのか。・・・ヒトラー、スターリン、プーチン、・・・毛沢東、・・・習近平・・・と流れは止まらない。

アメリカや NATO 軍が出撃したら第三次世界大戦になってしまう。そうなれば、ロシアは原爆や水爆を使うだろう。侵攻後1か月の現時点では経済制裁をするだけにとどめているが、さいわいウクライナ兵ががんばっていて、ロシア兵そのものの士気も衰えている。「侵攻」した理由は、「本来ウクライナはロシア領である」であるが、クリミヤ半島を考えてもいろいろ「自分たちだけに通用する理屈」をつけて占拠してしまった。・・・ならば、日本の北方領土については、「本来の」日本に返還するかといえば、言を左右して応じない。まあ、勝手な理屈というよりも、単なるごり押しにすぎない。悪知恵は働く。すでに戦闘で死亡した兵士の遺体の下に地雷を埋める。虐殺の後を隠そうとする。理屈だけは1人前に「Fake news（でっち上げ）だ」と言い張る。・・・いくら糊塗しても、半壊や全壊したビルをみれば、どのような攻撃をしたか、子どもにもわかる。

ポーランドに住んでいるという精悍な顔をした壮漢が、真剣な表情で、「祖国ウクライナを救うために、ウクライナにもどるところだ！」と語った。また、ある人は、「家族を守るために帰国するところだ」と言った。・・・このような人々が、大まかな調べだけで数万人いたという。当然ながら「命懸け」である。世界中から義勇兵が集まってくる。日本人もいたが、政府の規制で参加できなかった。・・・そんなもん、行かせてやればいいのか。

仮に攻められたのが日本ならどうか？卑怯未練なやつは、いくらでもいる。売れない漫才師が、「戦争になったら、隠れていて、ほとぼりが冷めたらでてくる」などと、売国奴より性質の悪いのがいる。のこのこ出てきたら、即刻銃殺だ。やくみつるだったかが、「中国日本州でもいい」などというから、腹の底まで矜持のない連中が跋扈している。日本学術会議も同じ穴の貉。プライドも何もない。日本が滅んだら、今の特権まで失ってしまうことも予測できない子供以下の理屈をこねているに過ぎない。「大和魂」のかけらもない単なる臆病者で、チベットやウイグル、香港をみよ。これならまだ「アメリカのポチ」の方がましではないか。・・・さすがにTVに出てくることはないが。・・・敗戦によって失われたものは何か？ **国家としての矜持**である。誇りも何も失ってしまって、ただ食うために右往左往するだけの国民になってしまった。戦後、朝日新聞などはいち早くGHQにすり寄って生き残りを図る。まともな文化人や愛国心を持つ人を

貶め続けた。同じ朝日新聞は、戦争中は、大本営にすり寄り、虚報の連続で戦争礼賛をしていたではないか。……つまりは、強い方に尻尾を振るだけしかできない。戦後 50 年も経ってからも、同じように尻尾を振って近づき、あわよくばおこぼれに与ろうとする連中を何人もみてきた。

突然話が変わるようだが、ボクなどが生まれる前の話、シャキシャキしていて正義感が強く、男勝りの女の子、まだ小学校にも通っていない子のことを「キンタマ落とし」とからかって、可愛がっていた人がいた。言いえて妙だが、あまり品のない表現だから、いつの間にか、こういう表現は無くなってしまったが、つい最近、それを思い出すような話が出てきた。上に述べた下手な漫才師やワイドショーのコメンテーターと自称する連中が出てきて思い出した。なぜか？……奴らは、「ウクライナはなぜ降伏しないのか？ 抵抗するから子どもたちが被害に遭って死んでいくのだ、」という。冗談だと思っていたら、本音だったので腰を抜かすほど驚いた。……こいつらの「××袋と頭蓋骨はいれものだけで、中は空っぽ」なのではないか。……そういう臆病者が平然と理屈をこねる。また、そんな連中がひとりではないことが恐ろしい。降伏したら、まったくの奴隷ではないか。今以上の虐殺が目に見えるようだ。

満洲での歴史を知らないのか？ ウクライナが降伏したら、蹂躪されるのは抵抗できない女性と子供たちなのを理解できないのか。現在、被害に遭っている子どもたちよりもはるかに多くの子供たちが犠牲になることも予測できないのか！

「永遠のゼロ」にいう、特攻隊に関連して「愛国心はあったが、洗脳などされていない！」と朝日新聞の記者に語る場面あるが、戦争に負けただけで、有為の人材を何百万人も失ったのも大きい、もっと大切なことは、愛国心を失ってしまったこと、国家としての矜持まで失ってしまったことである。いずれも、朝日新聞が音頭取りである。……こいつらに「硫黄島に籠って 1 か月以上持ち堪えた兵士の気持ち」を理解しろと言う方が無理なのだろうか。

ウクライナ人の若い女の子が、銃の撃ち方を学んでいる。彼女らの方がはるかに愛国心に富み、勇気がある。日本が敗戦で失ったものは、有為の人材も含め、勇気や愛国心や矜持である。魂まで悪魔に売ってしまったのが、朝日や NHK などのマスメディア。戦前は軍部、戦後は GHQ。これら強い方になびいてきた。

コメンテーターなどバカな理屈をこねるものだ。では、日本が同じように攻撃されたら、抵抗もせずに降伏せよ、というのか！……残る道は奴隷じゃないか。こんな連中こそ、TV から追放してくれ！